

## ■公開質問状「協議会 3.11.メッセージ」と貴党の文化政策について

自由民主党（回答日：2013年6月28日）

### 1. 文化政策の基本的な考え方について

日本は美しい自然に恵まれ、歴史と伝統に培われた独自の文化を持っています。長い歴史の中で育んできた有形・無形の文化財や芸術文化は、世界に誇る価値を有しており、これらを最大限に生かすことが不可欠です。そこで、文化が新たな国富を生み出す観点からも文化予算の飛躍的な拡充を図り、世界に誇るべき「文化芸術立国」を目指しとともに「クールジャパン戦略」を推進するにあたり、伝統的な文化・芸術の継承・発展を引き続き推進します。

### 2. 「文化芸術立国を目指すうえで、今後数年のうちに文化予算を2倍にしたい」との下村文部科学大臣の発言について

参議院選のJ-ファイルにも、『文化芸術立国』の創出に向けて、必要な文化予算を確保します」と掲げており、「2倍」という数字が先にありきではありませんが、文化予算の飛躍的な予算の確保を目指して全力をつくします。

### 3. 文化政策と経済政策のかかわりについての意見

東北文化のブランドイメージを高めることが重要です。日本だけでなく世界各国に対して東北の文化の魅力を発信することにより、国内外からの観光客の増加につなげ、東北ブランドの商品の売り上げを伸ばしたいと考えています。具体的な方法としては、東北各県が連携しての東京・大阪・名古屋・福岡・広島等の都市部での観光客誘致のキャンペーンの展開や、フィルムコミッション活動による東北の各地域が映画やテレビドラマのロケ地となること等を考えています。

クールジャパン戦略の一環として東北の衣食住・伝統工芸品の魅力をソフトパワーとして戦略的に海外発信するため、「株式会社海外需要開拓支援機構」を設立し、世界の市場に売り込みたいと考えています。特に東北の「食」は品質が高く、ヘルシー感覚で世界各国で受け入れられています。経済発展が著しいアジア諸国の富裕層に購入してもらうため、積極的に東北の食文化を発信し、農産物の輸出促進を図ります。

### 4. 地域文化振興についての考え

地域の優れた伝統文化を守り、継承していくことによって地域で暮らす人々の絆が強まり、震災復興につながります。また、文化財は観光資源にもなります。その典型的な例は岩手県の平泉です。世界遺産に登録されたことにより、中尊寺などを訪れる観光客が増加し、地域経済が活性化されています。これから東日本大震災で被災した文

文化財の復旧を加速させ、伝統芸能・工芸の後継者や文化財の保存修理技術の伝承者の育成に努めていきます。また、災害から地域の文化財を守るための防災対策も推進していきます。

文化芸術の創造性が地域の産業の活性化に結びつける「文化芸術創造都市」の取り組みが東北各地に形成されるよう支援します。また、各地域の小中学校で全ての子どもが、質の高い文化芸術を最低2回(伝統文化と現代文化を各1回)は鑑賞・体験することができるようにするとともに、地域に伝わる伝統芸能などを親や子どもに伝える「伝統文化親子教室」をさらに充実していきます。

#### 5. 国際交流における日本文化の重要性について、特に東アジアにおける文化交流についての考え

いうまでもなく、国際交流では日本文化が重要です。これからも海外での総合的な日本文化の紹介事業や国内の芸術フェスティバル、国際会議の開催を支援していきます。また、平成26年に日本・中国・韓国の3か国で新たにスタートする『東アジア文化都市』事業の第1回日本国内候補都市に横浜市に決定しています。こうした文化芸術イベント等の実施により、東アジア域内の相互理解を強め、東アジアにおける多様な文化の国際発信力を高めていくことを目指しています。

#### 6. 「協議会.3.11.メッセージ」について気づいた点

芸術文化を基点とした復興支援の取り組みに敬意を表します。ファンドを立ち上げ、なかでも「百祭復興プロジェクト」として祭りや伝統芸能の復興に力を注がれてきたことは被災地で暮らす方々に大きな励ましを与えたと確信します。わが党は立党時より保守政党として家族・地域社会の絆を基盤とした国づくりを目指しており、東日本大震災が発災した直後から家族・地域の絆による震災復興に取り組んできました。それゆえ、貴協議会のメッセージと同じ方向性を持っていると考えています。

以上